

社会経済史学会英文モノグラフの刊行について

会員各位

社会経済史学会

社会経済史学会では、昨 2013 年秋に Springer 社から『社会経済史学』英文書籍シリーズ創刊を提案されたことを受けて、検討委員会を設けて具体的な刊行計画案の検討を重ねてきました。その結果、本年 5 月の会員総会で理事会が提案した英文モノグラフ刊行計画が承認されました。

英文モノグラフは、社会経済史学会が著作権をもつ既発表の日本語論文(『社会経済史学』あるいは『社会経済史学の課題と展望』などに収録されたもの)を特定のテーマを選んでこれに即して編集し、翻訳・刊行するものです。

オンデマンドの冊子体と e-book の形態で刊行されることとなりますが、図はすでに同社から刊行されている冊子体のカバーデザインのサンプルです。

学会の海外への情報発信として重要な役割を果たすものと期待し、学会の事業として、英文モノグラフ編集委員会を設けて編集プランを作成し、論文著者の同意を得て翻訳刊行することとしています。

現在、編集委員会が検討しているモノグラフの編集テーマは、「エネルギーと環境」「消費社会と企業体制」「日本帝国の経済史」などです。1 冊のモノグラフは 4 本程度の論文と書評数編を基本構成として編集プランが作成されています。

翻訳については、著者本人が英訳することが期待されていますが、学会の事業として推進するため、翻訳については日本語での提出も認めることにしています。ただし、日本語で提出する場合には、掲載料として論文 1 点について 5 万円を支払うことが求められます。スムーズな作業の進行と高い品質の翻訳を実現するため、学会では、信頼できる翻訳者グループを確保するように努めています。

社会経済史学会では、2015 年 8 月に開催される世界経済史会議までに刊行を開始したいと考えており、この会議で継続的な情報発信をする旨を参会者にお知らせしたいと考えています。

この事業推進のために皆様のご協力をお願いいたします。

以上

